小学校５年　算数　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	表現･処理	知識･理解	数と計算	量と測定	図　形	数量関係	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	3	5	5	6	2	2	3	１３
－10％ より低い	1	2	4	4	0	2	1	7
計	4	7	9	１０	2	4	4	２０

（２）考察

①　全体について

ア　基礎的・基本的な知識や技能について、改善が必要である。

イ　設定通過率の－10％より低い問題が７問あり、学校間で差が見られる。

②　成果

ア　学校間で差が見られ、課題であった面積の量感や伴って変わる量など、経年で比較している問題については少しずつ改善が図られている。各校で適切な指導が行われている。

イ　継続して出題している「四則混合問題」の通過率は、今年度も確実な定着が見られる。小数の乗除など計算技能についても、各校でよく習熟が図られている。

③　課題

ア　どのような条件を用いれば合同な三角形をかいたり、作ったりすることができるのかに着目できない。

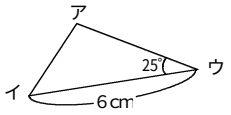
イ　基本的な図形の定義や性質について、共通点や違いに着目して統合的に理解できていない。

（３）今後の指導

ア　合同な図形をかいたり、作ったりする算数的活動を充実させる。

13　次の図の，三角形アイウと合同な三角形をかきます。図にかかれた辺の長さや角の大きさのほかに，あと１か所，何がわかればかけますか。２通り考えて書きましょう。

（15



・合同な図形を重ねて写し取ったり、対応の考えを用いたりして、かいたり、作ったりする活動の中で、どのような条件を用いれば、合同な図形をかいたり、作ったりすることができるかに着目させ、合同について実感的に理解させることが大切である。

・かいたり、作ったりした図形が合同であるかどうか確かめたり、条件にあっているかどうかを確かめたりする活動によって、根拠を明確にして説明する態度を育てたい。

イ　図形の性質を見いだし、それを用いて図形を調べたり構成したりすることを指導する。

18　次の表にある５つの四角形について，(1)～(4)の特ちょうが，いつでもあてはまるものに○をつけましょう。

四角形の名前 ＼ 四角形の特ちょう	正方形	長方形	ひし形	平行四辺形	台　形
(1)対角線が直角に交わる					
(2)対角線の長さが等しい					
(3)向かい合った2組の辺が平行					
(4) 4つの辺の長さがみな等しい					

（20

・性質を見いだすには、図形を構成したり、分解したりする活動を取り入れる必要がある。これまで指導してきた図形との関連や相違点を、表などにまとめる活動も有効である。

・活動を通して筋道立てて考えることに関心をもったり、筋道立てて考えることのよさに気付いたりできるようにすることも大切である。